

第7次総合計画

政策・施策シート

【くらし】

【くらし】市民生活政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
安全安心な暮らしを支えるまち	安全・安心な暮らしの状況を 確認できる件数【件】	↘	身近な絆の象徴である地域コミュニティの活性化や、人を大切にし支え合う仕組みづくりを進めるとともに、交通事故や消費者被害に遭わない環境整備の充実により、誰もがいつまでも安全・安心で快適に暮らせる市民生活が実現することを目的としています。
	6.6		

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度 （％）	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策1】 コミュニティの活性化の推進	町内会加入率【％】						●町内会活動等支援事業	【重点化】 ●町内会活動等支援事業 ●コミュニティ活動等支援事業 ・町内会を、頼れる存在とするには、補完的バックアップが必要であり、 地区自治協議会の存在が欠かせません。 ・令和3年度から、自治協議会の在り方を、地域とともに確認する「地域運営研究会」を設置。ここで重点的・集中的に議論し、 町内会のバックアップ体制を含めた整理を行い、町内会の強化につなげ、地区自治協議会の役割や機能を含めた整理を行い、自治協議会の体制強化につなげます。
	82.4	80.9	98.2	82.4	82.4	82.4		
	KPI達成状況の分析							
	●KPI未達は、コロナの影響で、各町内会が活動を自粛された事が大きな要因と考えられます。一方、恒常的な町内会加入者の減少の大きな要因として、①町内会の活動実態が理解されていないこと、②頼れる組織としての存在感を示すことができていないことがあるのではないかとの評価を行いました。							
【施策2】 安全安心施策の推進	地区自治協議会の活動への参加者数【人】						●コミュニティ活動等支援事業 ●市民協働推進事業 ●市民公益活動支援事業	
	109,141	54,324	49.8	110,211	111,281	112,350		
	KPI達成状況の分析							
	●KPI未達は、コロナの影響で、各地区自治協議会の活動を自粛された事が大きな要因であります。一方で、自治協議会の存在意義が今だ整理されていない段階にあるとの評価を行いました。							
【施策2】 安全安心施策の推進	刑法犯罪認知件数【件】						●地域安全活動支援事業	【重点化】 ●地域安全活動支援事業（現：防犯活動等推進事業） ・防犯灯器具更新に対する支援制度創設について検討を図ります。
	699	593	115.2	659	622	586		
	KPI達成状況の分析							
	●減少した要因としては、全国的な傾向として、官民一体となった総合的な犯罪対策の推進や防犯機器の普及が挙げられます。						●交通安全運動推進・組織育成事業 ●交通安全教育事業	【重点化】 ●交通安全運動推進・組織育成事業 高齢者の交通安全について、地域の老人会や自治協議会と協力しつつ、体験型シミュレータ機器を活用した出前型教育の普及を図ります。
	交通事故発生件数【件】							
	792	492	137.9	759	728	698		
	KPI達成状況の分析						●市民相談等事業 ●消費生活相談事業 ●消費者意識啓発事業	【重点化】 ●消費者意識啓発事業 高齢者等の消費者被害を防ぐため、関係機関と地域の関係団体が連携した消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）を推進します。
	消費生活相談・市民相談応答率【％】							
	100	98.7	98.7	100	100	100		
	KPI達成状況の分析							
●市民からの相談に対し、適切な助言や案内等ができたものです。								

【くらし】市民生活政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
安全安心な暮らしを支えるまち	安全・安心な暮らしの状況を 確認できる件数【件】 6.6	↘	身近な絆の象徴である地域コミュニティの活性化や、人を大切にし支え合う仕組みづくりを進めるとともに、交通事故や消費者被害に遭わない環境整備の充実により、誰もがいつまでも安全・安心で快適に暮らせる市民生活が実現することを目的としています。

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度 (%)	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策3】 人権尊重と男女共同参画社会 の推進	人権相談件数【件】						●人権啓発推進事業 ●男女共同参画推進事業	【重点化】 ●人権啓発推進事業 ●男女共同参画推進事業 佐世保人権啓発推進協議会及びさせぼ女性活躍推進協議会と連携を図り、事業の推進に努めます。
	307	192	100.0%	297	287	277		
	KPI達成状況の分析							
	●R2年度はコロナ禍においてコミュニティセンター（旧公民館）等で実施する特設相談を休止するなど相談業務が縮小され、その結果が相談件数に影響を与えました。							

【くらし】保健福祉政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H29）	目指す方向	
誰もが、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまち	平均寿命に対する健康自立度【%】 97.53	↗	健康を支える環境や地域医療の体制など、保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できる体制をつくり、地域共生社会を目指して誰もが共に支え合い、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまちづくりが実現することを目的としています。

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度（%）	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策1】 健康づくりの推進	平均自立期間【年】（上段：男、下段：女） ※ KPI：R2年度の実績値は確定していないため、R1年度の実績値としている。						<ul style="list-style-type: none"> ●老人クラブ活動支援事業 ●健康運動支援事業 ●健康増進事業 ●感染症対策事業 	【重点化】 ●感染症対策事業 ・今後の新たな感染症への対応体制を検討するうえで、まずは今般のコロナ感染症の振り返りと検証を行います。検討にあたっては、 医療等専門的知見からの考察が必要であり、保健師を主とした検討体制を構築 します。今後の新たな対応体制を含め、次年度に向けての検討段階から保健師の増員を行います。
	79.73	79.31	99.9%	79.99	80.25	80.50		
	83.96	84.32	99.9%	84.04	84.11	84.19		
	KPI達成状況の分析 ●新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するため、特に高齢者が多く利用する鹿町温泉施設などの臨時休館をはじめ、各種イベントや集団がん検診等の各種事業の一部中止や事業縮小等を余儀なくされました。							
【施策2】 質の高い地域医療体制の充実	救急患者の受入病院決定率【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●地域医療推進事業 	【重点化】 ●地域医療推進事業 少子化等に伴う就労人口の減少により、市内医療機関における医療従事者不足の懸念が高まる中、 就学支援制度の創設や養成機関間の連携強化により効果的な取組みの研究 を進め、将来にわたり安定的に医療従事者の養成が継続できる仕組みづくりの構築を目指します。
	99.3	98.8	99.5	99.3	99.3	99.3		
	KPI達成状況の分析 ●新型コロナ感染症の感染拡大に伴い、一時的に救急搬送時間の増加がみられましたが、緊急病院長会議を通じて休日・夜間における救急搬送フローを整備を行いました。							
	人口10万対あたりの在宅療養支援医療機関数（病・診）【施設】						<ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療・介護連携事業 	【重点化】 ●在宅医療・介護連携事業 在宅医療の推進に有効な手段となり得る オンライン診療について、医師等の制度理解を促進するため研修会の開催などにより周知・啓発 を図ります。 ・在宅医療・介護連携協議会を中心として、 市医師会や各医療機関、介護事業者等の多職種間でさらなる連携強化を図るとともに、広域都市圏の関係市町とも情報やノウハウの共有を通じて取組みの強化を進めます。
18.8	16.4	87.2	20.4	22.0	23.6			
KPI達成状況の分析 ●新型コロナウイルスの感染拡大により、医療提供体制の確保に向けて県や医師会及び医療機関間での対策にかかる協議調整が必要となったことなどにより、医療機関数の増加に向けた取組みを計画通りに進めることができませんでした。								
医療施設等の立ち入り検査における検査項目の適合率【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●医事・薬事監視事業 	【重点化】 ●医事・薬事監視事業 国及び県の方針に基づき、新型コロナウイルスのまん延状況を踏まえて医療施設への立入検査実施について検討 します。実施困難な場合においても、セルフチェック等の自主点検を継続し、医療の質の確保につなげてまいります。	
100	97.6	97.6	100	100	100			
KPI達成状況の分析 ●新型コロナウイルス感染症の発生により、医事関係施設の病院・診療所立入検査は中止としたため遵守項目のチェックができませんでしたが、薬事関係施設は感染対策を講じた上で更新検査時に遵守項目をチェックし、KPIを概ね達成できました。								

【くらし】保健福祉政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H29）	目指す方向	
誰もが、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまち	平均寿命に対する健康自立度【%】	97.53	健康を支える環境や地域医療の体制など、保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できる体制をつくり、地域共生社会を目指して誰もが共に支え合い、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまちづくりが実現することを目的としています。

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度 （%）	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【 施策3 】 高齢者になっても健康で自立した生活ができる環境づくり	要介護者以外の割合【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●介護予防・日常生活支援総合事業 ●要支援認定者介護予防事業 ●相談体制充実事業 ●地域支え合い事業 	【重点化】 ●介護予防・日常生活支援総合事業 ・介護予防活動団体の立ち上げや活動を継続するための支援、また参加者のセルフマネジメント（自己管理）の強化を図るため、 介護予防手帳の活用や専門職の講話を受けることができる体制を構築し、活動の強化 を図ります。 ●地域支え合い事業 全27地区自治協議会圏域に生活支援コーディネーターを配置し、地域の関係者で構成される協議体が設置できたことで、引き続き、 高齢者のニーズや地域課題の把握や整理を行い、地域の実情に応じた支援体制について検討 を行っていきます。
	86.7	86.9	100.2%	86.7	86.7	86.7		
	KPI達成状況の分析							
【 施策4 】 障がい者の自立と社会参加の環境づくり	入所施設などから地域生活に移行した障がい者の数【人】						<ul style="list-style-type: none"> ●地域生活支援事業 ●障がい者介護給付事業 ●障がい者訓練等給付事業 ●障がい者保健事業 	【重点化】 ●障がい者保健事業 精神障がいのある人の地域移行を進めるにあたり、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムを構築 するため、保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置します。 ●地域生活支援事業 障がいのある人の高齢化、重度化や「親亡き後」を見据え、地域で安心して暮らしていけるような様々な支援を提供できる地域生活拠点等が有する機能の確保と充実を図ります。
	10	2	20.0%	10	10	10		
	KPI達成状況の分析							
【 施策5 】 健康を守る安全な生活環境づくり	重篤な食中毒発生件数【件】						<ul style="list-style-type: none"> ●食品衛生対策事業 ●食品営業許可調査指導事業 	【重点化】 ●食品営業許可調査指導事業 ・食品衛生法改正に伴う営業許可制度の見直し及びHACCP制度化について、食品等事業者に対する普及啓発に取り組みます。
	0	0	100.0	0	0	0		
	KPI達成状況の分析							
【 施策5 】 健康を守る安全な生活環境づくり	生活衛生許可施設等における健康被害発生件数【件】						<ul style="list-style-type: none"> ●狂犬病予防対策事業 ●動物の愛護・管理事業 ●環境衛生啓発事業 	【重点化】 ●狂犬病予防対策事業 ・狂犬病予防のため、 犬の登録の徹底及び狂犬病予防注射接種率の向上 を図ります。 ●動物愛護・管理事業 ・動物愛護センターを拠点として、譲渡会や啓発イベントの開催を行い、動物愛護の普及・啓発を図ります。 ●環境衛生啓発事業 ・ 生活衛生許可施設等に対し、計画的な監視指導を行う とともに、対象施設における自主検査等による衛生管理の徹底を促します。
	0	0	100.0	0	0	0		
	KPI達成状況の分析							
●飲食店等への監視指導において衛生意識の啓発等を継続的に実施したことによりKPIが達成できました。								
●狂犬病の予防対策については、個別訪問による指導やチラシの配布、HP等により動物の適正飼養の指導、啓発を行ったことで、健康被害の発生件数を0に抑えることができました。								
●環境衛生啓発事業については、公衆浴場やホテル・旅館などの生活衛生許可施設等に対する浴槽水や飲料水の採水検査などの監視指導を計画的に実施したことにより、衛生管理の周知が図られたことでKPIが達成できました。								

【くらし】保健福祉政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H29）	目指す方向	
誰もが、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまち	平均寿命に対する健康自立度【%】 97.53	↗	健康を支える環境や地域医療の体制など、保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できる体制をつくり、地域共生社会を目指して誰もが共に支え合い、いくつになっても健やかに安心して暮らせるまちづくりが実現することを目的としています。

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度 （%）	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策6】 国民健康保険事業等の適切な実施	特定健診受診者の血圧Ⅱ度以上の割合【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険増進事業 ●国民健康保険特定健康診査事業 ●国民健康保険特定保健指導事業 	【重点化】 ●国民健康保険特定保健指導事業 ・保健指導の実施率を高め、生活習慣病発症リスクの高い方に対して発症予防、重症化予防を図ります。 ・出前講座においてメニューを新設し、 健診結果を基にした生活習慣病予防の講話を身近な地域で受けることができる体制を構築 するとともに、健診結果の見方のほか佐世保市の健康課題を説明するなど、自身の健康への関心を高めるよう啓発を図っていきます。
	5.3	5.3	100.0	5.2	5.1	5.0		
	KPI達成状況の分析							
	●特定保健指導対象者のうち重症化リスクが高い対象者を抽出して、訪問や来所による面接を中心とした個別面接を行い、受診勧奨や生活習慣の改善に注力した取り組みを行いました。							
【施策7】 生活保護の適正な実施と自立促進	国民健康保険税収納率（現年度分）【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険税収納率向上対策事業 	【重点化】 ●国民健康保険税収納率向上対策事業 ・コールセンターによる納付案内や納税相談員等の臨戸訪問による納付勧奨、催告文書や制度の案内チラシなどの送付、短期被保険者証の交付などを行い国民健康保険税の未納者と接触する機会を図ります。併せて、法の規定に基づく滞納処分を実施しつつ、 納税への理解を高めていく ことで、更なる国民健康保険税の収納率向上に努めます。
	92	93.48	101.61	92.0	92.0	92.0		
	KPI達成状況の分析							
	●催告文書へ同封する専用チラシの作成・送付による納税に対する意識づけや法に基づいた滞納処分の執行停止処理の徹底による徴収不能な債権の整理等の取組の継続及び拡充を図ることでKPIを達成することができました。							
【施策8】 福祉サービスの適正化の推進	就職・稼働収入増による自立世帯数【世帯】						<ul style="list-style-type: none"> ●生活困窮者自立支援事業 ●自立促進支援事業 	【重点化】 ●自立促進支援事業ほか ・自立促進のための適正保護の確実な実施が生活保護制度の基本にあるため、「扶助費」等の事業についても、これまで同様適切な取組が必要です。また、令和2年度については、 国の新型コロナウイルス感染症対策で、生活保護に至る前の生活困窮者への支援制度が拡充されました。今後も国の制度変更等にも注視し、適切な対応を図る必要があります。
	110	78	70.9%	110	110	110		
	KPI達成状況の分析							
	●生活保護者の高齢化率が上昇傾向という状況があります。そのような中、平成30年度と令和2年度との比較において、稼働年齢層（15歳～65歳）人数が約10%減少、KPIの対象となる就労可能（傷病等で就労に支障がない方）人数が約22%減少し、対象者数の減少が大きいことが、目標値との乖離の大きな要因と考えられます。また、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の流行により、有効求人倍率の低下等も、一因と考えられます。							
【施策8】 福祉サービスの適正化の推進	指導監査における指摘事項について事業者が改善した割合【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●監査指導一般管理事業 	【重点化】 ●指導監査一般管理事業 現状における新型コロナウイルス感染症の影響下で実地指導の実施が困難な状況が当分の間継続することを想定し、国の動向を注視しながら、 感染状況に応じた柔軟な指導監査を実施しつつ、ICTの利活用による監査の実施等についても、今後検討していくもの とします。
	100	100	100.0%	100	100	100		
	KPI達成状況の分析							
	●令和2年度においては、事業者に対して行った指摘事項の全て（KPI達成度100.0%）で改善させることができました。							

【くらし】消防政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
住む人と訪れる人たちが安全・安心を実感できるまち	建物火災1件あたりの焼損床面積【㎡】	41.2	火災や自然災害並びに救急・救助に迅速かつ確に対応するとともに、火災予防対策を推進することで、住む人と佐世保を訪れる人たちが安全・安心を実感できるまちづくりを目的としています。
	心肺停止患者の1カ月後の生存率【%】	12.4	

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度（%）	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策1】 火災や自然災害対策の推進	消防隊の出動から放水開始までの時間【分】						<ul style="list-style-type: none"> ●消防行政一般管理事業 ●消防車両等管理事業 ●消防水利管理事業 ●通信指令システム整備管理事業 	【重点化】 ●消防車両等管理事業 ・消防車両の更新と併せ、ドローン他各種資機材の整備、体制の構築、職員のスキルアップによる災害対応能力の向上を目指します。
	6.3	6.3	100.0	6.2	6.1	6.0		
	KPI達成状況の分析							
	●火災防ぎょ活動の充実強化を図るため、「火災防ぎょ戦術マニュアル」を策定すると共に、火災を想定した訓練や指揮隊応用訓練等の実施及び消防資機材の整備を図ることで、KPIの達成に貢献できたものと分析します。							
【施策2】 救急・救助の高度化	救急隊の出動から病院到着までの時間【分】						<ul style="list-style-type: none"> ●消防団組織活性化事業 ●消防団施設管理事業 ●消防団車両等管理事業 	【重点化】 ●消防団管理事業 佐世保商工会議所と「消防団活動の充実強化に向けた支援に関する協定」を締結するなど、事業者が従業員の消防団加入を促進する取組を行っており、今後も引き続き消防団員数の確保に向けた取組を継続していきます。
	35.7	38.9	91.8	35.5	35.3	35.0		
	KPI達成状況の分析							
	●新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、救急出動の際の感染防護体制の徹底を図ったこと、並びに搬送先医療機関の受入交渉に時間を要したことから、KPIの目標に達しなかったものと分析します。							
【施策3】 火災予防対策の推進	救急隊が行う救命処置の適正化率【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●救急救助業務高度化推進事業 ●救急救命士の病院実習や症例検討会、ドクターヘリ連携訓練等を救急指定病院及び救急救命センターの協力により行い、救急業務に携わる職員のスキルアップを図ることで、救急隊が行う救命処置の適正化率100%を堅持します。 ●救急救助装備等管理事業については新型コロナウイルス感染症を含めた感染症対策のための救急救助資機材等の更なる整備を推進します。 	【重点化】 ●救急救助業務高度化推進事業 ・病院到着までの時間を短縮するため、市医師会、保健福祉関係及び救急指定病院と傷病者の受入れについて密に情報の共有を図るとともに、救急隊員のスキルアップに努め目標達成を目指します。 ・市医師会、救急指定病院及び救急救命センター等の関係機関と連携し、救急隊が行う救命処置に関する指導や助言、病院実習等によって病院前救護体制を充実させ、地域における救急高度化に努めます。
	100	100	100.0	100	100	100		
	KPI達成状況の分析							
	●救急救命士の質の向上を目指した救急救命士の再教育病院実習等を適正に実施するとともに、感染防護衣を導入し救急隊員が安心して活動するための装備の充実を図りましたので、KPIの目標を達成することができたものと分析します。							
【施策3】 火災予防対策の推進	人口1万人あたりの火災件数【件】						<ul style="list-style-type: none"> ●火災予防推進事業 ●危険物施設保安体制指導事業 ●防火組織の育成指導及び活動支援事業 ●消防音楽隊運営事業 	【重点化】 ●火災予防推進事業 ・立入検査時に判明した違反事項の質疑や現場の状況についてICT技術を活用し、各署予防係などの専門部署へ映像を併せた情報を提供し助言を求め、即時、関係者へ適法な指導を行うことで迅速な違反是正を図ります。 ●防火組織の育成指導及び活動支援事業 コロナ禍における各地域の火災予防体制を構築するため、対面式による防火指導に限らず、各消防クラブへ防火DVDの貸出しや防火に関する資料を配布し、独自に研修を行ってもらうことで、各地域における火災予防対策の推進を図ります。
	3.3	3.2	103.0%	3.2	3.1	3.0		
	KPI達成状況の分析							
	●各町内会等で防火チラシを回覧したほか、報道機関やSNSを活用した市民への火災予防の呼びかけを積極的に行い、また、医療機関や福祉施設における防火対策として、電話・FAXにより直近に実施した立入検査時の違反事項の是正指導を行ったことで、KPIで求める数値が達成できたものと分析します。							

【くらし】防災危機管理政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
災害に強い安心して暮らせるまち	災害死者数【人】		災害や緊急事態から市民の生命及び財産を守り、また防災関係機関と連携して、被害を最小限に抑える環境・体制を整え、災害や緊急事態に強いまちにすることを目的としています。
	0	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度 (%)	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策1】 災害や緊急事態に対応できる体制の充実強化	地域型防災訓練実施率【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●防災コミュニティ推進事業 ●災害対応計画推進事業 ●災害情報等伝達事業 	【重点化】 <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・日本防災士会長崎県支部と連携し、地域住民の自助力・共助力の向上を図ります。 ●防災行政無線整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・旧市域での防災ラジオの配付手法について、確実に配付可能なスキームを構築します。
	51	37	72.5%	55	77	100		
	KPI達成状況の分析							
	●昨年生じた新型コロナウイルス感染症禍の影響により、令和2年度に計画していた4地区における地域型防災訓練の実施機会が失われたことによります。							